

上越地区

いざ！上越へ

上越地区での総会・研修会の際には、遠く新潟方面から多くの方に参加していただきありがとうございます。令和元年度は同窓である渡邊江都子先生のご指導のもと「棒体操」の研修会を行いました。中学校の体育祭で男子生徒が披露していたというこの体操は結構ハードでしたが、参加された方々の年齢を感じさせない美しい動きと棒体操を自分のモノにしようという探究心に、さすが日女体大生！と感心するばかりでした。

上越地区の会員は、普段ほとんど交流がありませんが、個々にはみんなどこかで繋がっていて、いざ！という一致団結して協力して下さること、非常に感謝しております。

一年に一度、先輩・後輩の枠を超えて母校の校歌と一緒に斉唱するとき、自然と涙がこみ上げてきます。これも松徳会でなければ味わえませんね。

次回、上越地区開催の折にはまた皆様と一緒に校歌斉唱できることを心待ちにしております。



第30回研修会「棒体操」より

支部研修会について

松徳会新潟支部は平成2年度から総会・研修会を行っており、令和元年度で30回を数えました。ここ10年の研修会は以下の通りです。次回、皆様のご参加をお待ちしています。

第21回（平成22年度）中越地区	チアダンス	栗山由美
第22回（平成23年度）上越地区	はじめてのフラダンス	氏家有紀子
第23回（平成24年度）新潟地区	ピラティス－高齢者社会をイキイキと楽しく！－	西山久美子
第24回（平成25年度）下越地区	ヨガ－心と体の健康生活をめざして－	マイレスミットスタッフ
第25回（平成26年度）中越地区	手遊び（幼児教育）、松徳会と二階堂学園	二階堂邦子
第26回（平成27年度）上越地区	笑いヨガ	田島弘司
第27回（平成28年度）新潟地区	ラジオ体操	岡本美佳
第28回（平成29年度）下越地区	足元から考える健康教育－正しい足サイズと靴選び－	福島昌子
第29回（平成30年度）中越地区	健康増進、姿勢改善	八子元気
第30回（令和元年度）上越地区	棒体操	渡辺江都子

二階堂学園創立百周年寄付のお願い

－松徳会本部より－

2022年に二階堂学園は創立100周年を迎え、同じく松徳会は創立80周年の大きな節目となります。松徳会は、松徳会80周年記念事業として、会員1万人が寄付し総額1億円を目指しております。母校の発展のため協力のご協力をお願い致します。詳細は松徳会ホームページ(<http://www.jwcpe.ac.jp/shoutokukai/>)をご覧ください。

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年・3年度と総会および研修会を見合わせておりますが、同窓生の皆様に本部の動向や新潟支部の活動をお知らせしたく、今回はこのような広報誌を作成しました。再び皆様にお会いできる日を心待ちにしております。

編集・発行 松徳会新潟支部 事務局（令和3年5月）

日本女子体育大学・日本女子体育短期大学 同窓会

松徳会新潟支部だより



同窓の皆様お元気でいらっしゃいますか。

華々しいオリンピックイヤーになるはずだった2020年は、新型コロナウイルスの出現によって、100年に一度とも言われるパンデミックに遭遇する大変な年になってしまいました。これ迄にもエイズやSARS等々新しい感染症が現れましたが、どこか別の世界の事のように感じている所もありました。しかし、ことこのコロナウイルスは瞬く間に世界を席卷し私達の生活様式を一変させてしまいました。感染拡大を防ぐ意味から人々の行動が制限され、今まで当たり前のように行われていた事が出来なくなり、未だに終息の見えない中にいます。ただ長い人類の歴史は、感染症を乗り越えてきた歴史でもあり、こんな時代だからこそ、私達は何ができるのかと知恵を絞る事が要求されているのではないかと思います。

令和3年度も、総会の実施は困難なようです。一堂に会す事は出来なくても、またお会いできる時に向けて、まずはお体に気を付けてお過ごし下さい。2022年の学園創立100周年、松徳会80周年にむけての寄付について本部から再度お願いがありました。「次の100年後は協力したくても出来ない」の一文にハッと致しました。新潟も既に21名775、000円の寄付がされておりますが、まだ出来ていなかったという方、これから考えようという方も宜しく願い致します。

令和3年5月

松徳会新潟支部長

黒川 千尋

各地区のおはなし

松徳会新潟支部は新潟・上越・中越・下越の4地区で1年ごとに持ち回りで総会・研修会を行っています。ここでは各地区の近況や同窓生の活躍などを紹介したいと思います。

新潟地区

同窓生紹介 五十嵐瑠美子さん（昭和31卒）

新潟地区からは、五十嵐瑠美子先生をご紹介したいと思います。
改めて紹介するまでもなく、新潟の洋舞踊界に大きな功績を残してこられた事によくご存じの事と思います。今迄、平成21年春の叙勲で「旭日双光章」を受賞された事を始め、数々の賞を受賞されています。さらに、昨年10月に「新潟日報文化賞」を受賞されました。産業技術・学術・芸術・社会活動の4部門に顕著な活動があった者として、大学教授等5人の受賞者の中の一人として受賞されたものです。
先日、先生の80年にわたる舞踊人生をお伺いすることが出来ました。

お父様の勧めで5歳から始めたダンスは、その後江口隆哉先生との出会いで今に続くダンス人生となりました。新潟のダンス教室に江口隆哉先生ご夫妻が指導に来られるようになり、先生の記憶に残る初舞台は江口先生振り付けの「お馬の親子」を新潟市公会堂で踊った時だったそうです。昭和19年、瑠美子先生9歳の時の事です。東京大空襲で焼け出された江口先生は新潟の五十嵐家に疎開しておられ、終戦で東京に戻られた江口先生のスタジオに妹さんと二人で週末毎にレッスンに通われたそうです。当時、土曜の夜行で10時間かけて上京し日曜の夜行で新潟に戻る生活を高校入学まで続けられ、高校は二階堂高校に進まれました。短大を卒業し昭和32年21歳の時、新潟に洋舞踊研究所を開設され、以来65年間多くの教え子を送り出し、新潟の舞台芸術の普及と発展に寄与してこられました。今その研究所は娘の生野先生に引き継がれ「五十嵐生野モダンダンススタジオ」として沢山の生徒を育てていらっしゃいます。

昭和39年に起きた新潟地震で稽古場所をなくし一からやり直した等の苦労もあるが、長き指導者人生は一言「楽しかった」と言っておられました。その原動力を尋ねたところ「まず、踊る事、創る事が好きで、指導する事が好き。生徒の成長していく姿を見る事が好き」と笑顔で答えて下さいました。舞踊だけではなく地域とのつながりも大切にし、コミュニティ活動にも積極的に取り組まれました。気さくな人柄からか頼られる事も多く、頼まれれば労を厭わず気持ちよく取り組むので人々の信頼も厚く、それがまた先生の活力に繋がっているのではないかと思います。「人との絆が何よりも大切と思う」との言葉を最後に頂きました。



新潟日報文化賞表彰式と、レッスン・発表会の一コマ

中越地区

中越の地から祈りを込めて！

松徳会の皆様こんにちは。いかがお過ごしでいらっしゃいますでしょうか？中越地区で、八子元気先生の「健康増進、姿勢改善」講習会をおこなった後、皆様が中越地区に足を運ばれることはございましたでしょうか？

役員は、副支部長の牛腸つぐ実、幹事会にたくさん足を運んでくださる片桐勝子さん、研修会で活躍をしてくださる飯川文子さん、三条市の会場を予約して下さる西潟美知子さんを中心に活動しております。また、この地区は自然にも恵まれ、おいしい物も点在しています。体育施設としてアオーレ長岡があり、各種イベント他、コロナ禍ではありますが、プロバスケットボール、アルビレックスの試合が開催されております。来年度は、全国のインターハイ男子会場になっております。この中越の地から、インターハイやオリンピックが開催されること！松徳会の皆様にお会いできることを心から祈っております。



第29回研修会「健康増進、姿勢改善」より

下越地区

下越もよいとこ一度はおいで！

下越地区での開催は平成13年度からしばらく遠のいていました。他地区の方々からご支援いただき、平成25年度、29年度と下越での開催が出来ましたこと感謝いたします。日頃親交がなく寂しく感じていましたが、下越にもたくさんの会員の方がいらっしゃることを改めて感じる事が出来ました。

下越地区幹事は障がい者のスポーツに関わっているメンバーがそろっています。上手く踊れなくてもリズムに乗って心を解放し楽しめるように、ルールの難しい球技はどうしたら理解できるかなどを一緒に考えてきました。今後下越での開催の折には老若男女が楽しめるパラスポーツの体験なども面白いかなと考えています。総会・研修会が再開され、皆様とまたお目にかかれることを楽しみにしています。



第28回研修会「足元から考える健康教育」より